

**製品名: Cks1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08876**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CKS1B
別名	CKS1B; CKS1; PNAS-143; PNAS-16; Cyclin-dependent kinases regulatory subunit 1; CKS-1
遺伝子 ID	1163.0
SwissProt ID	P61024
免疫原	抗血清はヒト CKS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

**背景**

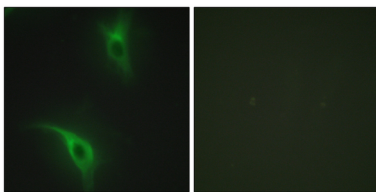
CKS1B タンパク質は、サイクリン依存性キナーゼの触媒サブユニットに結合し、その生物学的機能に必須です。HeLa 細胞において、CKS1B mRNA は細胞周期を通して異なるパターンで発現することが分かっており、これはコードされているタンパク質の特殊な役割

を反映しています。この遺伝子には少なくとも2つの転写バリエーションが同定されており、そのうち1つだけがタンパク質をコードしているようです。[RefSeq 提供、2008年9月]機能: サイクリン依存性キナーゼの触媒サブユニットに結合し、その生物学的機能に必須です。類似性: CKSファミリーに属します。サブユニット: おそらく6つのキナーゼサブユニットに結合できるホモヘキサマーを形成します。

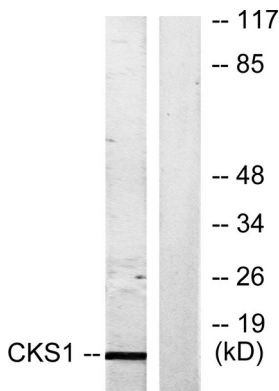
## 研究分野

がんの経路;小細胞肺癌;

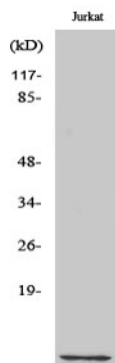
## 画像データ



CKS1抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CKS1抗体を用いた、血清20% 15%で処理したJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Cks1ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。